

平成14年度主な事業予算額

【一般会計】	
【商工費】	
中小企業特別融資積立金	3億4,860万円
住宅改良促進特別融資積立金	1億5,000万円
企業立地振興補助金	127万円
中小企業相談事業補助金	900万円
登別商工会議所会館改修事業補助金（新規事業）	326万円
「登別市・中国広州市観光交流都市調印」に係る経費（新規事業）	175万円
登別観光協会助成金	1,250万円
観光振興特別対策事業補助金	6,000万円
【土木費】	
道道倶多楽湖公園線登別温泉通改良受託事業費（新規事業・温泉バイパス第2期改良事業）	17億円
市道改良・舗装事業費《カルルス路線改良事業費、富岸西路線改良事業費、登別温泉中央通り道路災害防除事業費、石山通り改良事業費、東札内線改良事業費、中央通り改良事業費、温泉10号線改良事業費、サト岡志別路線改良事業費、幌別26号線改良事業費（地方改善施設整備）》	3億8,311万円
ロードヒーティング整備事業費（美園30号線・新生1号線）	2,925万円
市道舗装排水整備事業費	4億円
河川改修事業費	2,100万円
若山地区湿原保全経費	500万円
まちづくりアクションプラン策定経費	1,000万円
公園整備事業費《桜木公園整備事業費、楡の木公園便所建替事業費、川上公園多目的広場整備事業費、亀田記念公園整備事業費》	9,900万円
市営住宅（桜木団地）建替事業費	1億9,180万円
市営住宅（桜木団地）建替事業費（特定工事）	4,303万円
市営住宅（桜木団地）共同施設建設事業費	1億3,173万円
市営住宅（桜木団地）駐車場整備事業費	1,932万円
市営住宅（柏木団地）景観改善事業費	1,900万円
【消防費】	
救急救命士養成経費	315万円
消防ポンプ自動車購入費（新規事業）	2,311万円
消防広報車購入費（新規事業）	737万円
消火栓新設事業費	900万円
高度救急資機材購入費	389万円
サイレン遠隔吹鳴装置設置事業費（市内18カ所）	5,680万円
【教育費】	
教育指導研究奨励等経費	2,212万円
小・中学校情報教育推進事業費（新規事業）	3,523万円
私立高等学校教育振興補助金（新規事業）	720万円
小・中学校図書購入費	975万円
小学校校舎等整備事業費《幌別小学校屋体改修事業費、青葉小学校改修事業費、若草小学校プール整備事業費、登別温泉小学校校舎等改修事業費》	2,790万円
若草小学校大規模改造事業実施設計委託料（新規事業）	2,500万円
私立幼稚園教材教具整備事業補助金（新規事業）	208万円
図書館図書購入費	905万円
ネイチャーセンター運営管理経費（新規経費）	2,777万円
【国民健康保険特別会計】	
健康管理システム導入経費（新規経費）	1,460万円
脳ドック助成金（新規事業）	125万円
【公共下水道事業特別会計】	
下水道管渠整備事業費	16億5,838万円
終末処理場増設事業費	4億8,820万円
【水道事業会計】	
柏木配水池建設事業費（新規事業・平成14・15年度継続事業）	2億7,700万円

育補助員の雇用を図るとともに、仕事の分かち合い、いわゆるワークシェアリングの観点から、特に新卒の未就職者などを対象に、市の業務従事を通じて実社会を経験させ民間企業などへの就職の促進に資する取り組みを進めてまいります。

また、職員の再任用制度については、現下の厳しい雇用の現状を踏まえ適切な運用に努めてまいります。

高等学校教育の振興と若者の定着を図るため誘致した登別大谷高校につきましては、これまでスポーツ・文化の両面にわたり全国に知られる業績を残しておりますが、近年、深刻な生徒数の減少に直面して学校経営への影響が懸念されております。

私学の振興を図るため、新たに生徒

確保の取り組みを支援することといたします。

◎**漁業の振興**については、これまで強力に要請活動を展開してきた登別漁港の第三種への指定変更について、昨年暮れに開催された国の水産政策審議会においてこれを是とする答申をいただきました。

本年度から、新たな国の「水産基盤整備長期計画」がスタートしますので、登別漁港と併せ整備促進に努めてまいります。

また、ヒトデなどの駆除による漁場の整備と、新たに「エゾバフンウニ」の種苗放流事業を支援し、つくり育てる漁業を推進してまいります。

◎**農業振興**につきましては、**生産基盤ならびに生産環境の整備**を推進すると

ともに札内高原館において、地元の酪農畜産物による加工研究開発を引き続き進め、起業化への可能性を検討してまいります。

また、農業生産にとって最も基礎的な資源である農地を良好な状態で確保するため、農地の現況を把握し、今後の利用の見直しを諮って、農業振興地域の見直しを進めてまいります。

主要施策③

健康で思いやりのあるまちづくり

◎少子化や核家族化が進む中、子育てに悩みや不安を持つ親が増え、児童虐待のニュースが相継ぐなど深刻な社会問題となっており、誰もが安心して子どもを産み健やかに育てる環境づくり

を社会全体で進めていくことが重要であります。

市としては、保育所や幼稚園の子育



て支援機能の強化を図るとともに、幼児教育の充実を図るため、総合的な幼児教育振興プログラムを策定してまいります。

◎**保育所**については、老朽化が進んで